

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局	
	17077	学力向上推進事業	課名	学校教育課 教育支援G	
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財務科目	会計	01:一般会計
	基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長		款	10:教育費
	施策の方向	03:子どもたちの育ちのための学びの展開		項	08:教育研究費
戦略プロジェクト	05:「そして、親となるまち」プロジェクト	目		01:教育研究費	
事業予定期間	H 27 ~ R - 年度		主な根拠法令要綱等		

② 目的・概要	対象	市内小中学校の児童生徒及び教職員
	目的	児童生徒一人ひとりの「確かな学力」の向上を図るため、「亀山市学校教育ビジョン」「亀山市学力向上推進計画」に基づいた取組を推進する。
概要	児童生徒の学力の状況や課題を把握し、各種施策によりその向上を図る。研修会を開催することや、先進地視察等により、授業改善に努めるとともに学習環境を充実させるなどして総合的に学力向上への取組をすすめる。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ○補充学習支援教材の活用 ○中学校への運動部支援員の派遣 ○教職員への各種研修会の開催 ○かめやまっ子チャレンジの実施 ○学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関する実践研究(小・中学校)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○補充学習支援教材の活用 ○中学校への運動部支援員の派遣 ○教職員への各種研修会の開催 ○かめやまっ子チャレンジの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○補充学習支援教材の活用 ○中学校への運動部支援員の派遣 ○教職員への各種研修会の開催 ○かめやまっ子チャレンジの実施 	
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ○補助学習支援教材(問題データベース)への各校ログイン回数のべ6,539回 ○運動部支援員派遣のべ213回 ○学力向上研修会2回開催 ○先進地視察による情報収集1か所 ○「主体的・対話的で深い学びの推進事業」における活動支援員2名配置 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助学習支援教材(問題データベース)への各校ログイン回数のべ5,987回 ○運動部支援員派遣のべ311回 ○学力向上研修会1回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○補助学習支援教材(問題データベース)への各校ログイン回数のべ4,620回 ○運動部支援員派遣のべ141回 ○学力向上研修会2回開催 ○亀山市中学校第1学年3学期共通定期テスト(国語科・外国語科)を市内全中学校(3校)で実施。 	
事業の計画・実績	計画額	事業費	4,300千円	3,800千円	3,800千円
		国庫支出金			
		県支出金	500千円		
		地方債			
		その他			
	予算額	事業費	4,213千円	3,800千円	4,155千円
		国庫支出金			
		県支出金	453千円		
		地方債			
		その他			
	決算額	事業費 ①	3,657千円	3,261千円	3,009千円
		国庫支出金			
県支出金		453千円			
地方債					
その他					
人件費	総人件費 ②	785千円	784千円	790千円	
	一般職員	785千円	784千円	790千円	
	所要人員	0.10	0.10	0.10	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
	総コスト(①+②)	4,442千円	4,045千円	3,799千円	
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%		

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
④ 指標	①	名称 全国学力学習状況調査の結果	計画値	3	3	3
		市の平均正答率と全国の平均正答率の差 (全国学力学習状況調査)	実績値	3	-	3
			単位	%	%	%
	②	名称 授業理解度	計画値	小89中81	小90中83	小92中85
		学校での授業を理解している子どもの割合 (学校評価アンケート)	実績値	小88中87	小91中89	小90中85
			単位	%	%	%
	③	名称 家庭学習の状況	計画値	小63中68	小64中69	小65中70
		家庭で自ら計画を立てて勉強していると答えた児童生徒の割合 (全国学力学習状況調査 児童・生徒質問紙)	実績値	小70中54	小61中60	小73中70
			単位	%	%	%

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 「みえスタディ・チェック」の結果から、文章や図表を読む・読み取ることや、理由を書いて説明することなどに課題が見られる。また、家庭で自分から学習に取り組む児童生徒が少ない。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 「亀山市学力向上推進計画【第3版】」をもとに、全教科・領域において「書く力」「読む力」「読み取る力」の育成を柱とする取組を重点項目にあげた取組を推進した。また、「家庭学習の手引き」を各小中学校の児童生徒・保護者に配付し、家庭学習のねらいや効果、方法などを周知した。また、各小中学校における家庭学習の取組について担当教員で交流し各小中学校での共有を図った。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 補助学習支援教材(問題データベース)への各校ログイン回数は、のべ4620回があり、運動部活動支援員(5人)については、市内の中学校に年間141回派遣した。また、「全国学力・学習状況調査」と「みえスタディ・チェック」の結果を分析し、課題を把握した上で各校で具体的な方策を考え、課題改善に向けた取組を行うよう促した。さらに授業力向上を図るための「学力向上の取組についての教員アンケート」や「学力向上研修会」を実施した。	A 計画どおり実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 「みえスタディ・チェック」の結果は、国語において、市の平均正答率が、小学校においては県平均を上回り、中学校においても、県平均を超えることができた。また、家庭学習の状況では、家庭で自ら計画を立てて学習を進めている児童生徒の割合は、小中ともに10ポイント以上増加した。	B まずはまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 「読む力」「読み取る力」において全国、県に比べて小中学校ともに低い。	次期実施計画への方向性 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 引き続き、「亀山市学力向上推進計画【第3版】」をもとに、全教科・領域において「書く力」「読む力」「読み取る力」の育成を柱とする取組を重点項目にあげた取組を推進する。また、課題の解決に向けて、「亀山市学力向上推進計画」の改訂を行う。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 児童生徒の一人ひとりが主体的に学び、必要な資質・能力を身に付けることが期待できる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	教育委員会事務局 学校教育課 教育支援グループリーダー 前田 亜弓
【最終評価者】	教育委員会事務局 学校教育課長 宇野 勉

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	A	A
	成果	B	B	B	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		4,155 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	千円
	令和3年度の最終予算額	4,155 千円
	令和4年度への繰越額	千円